

コード	403020102
記入日	H25.5.31

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	島元 敬三

事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	特産品開発支援事業（海塩土産用パッケージ開発補助事業）
----------	-----------------------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 24 年度 ～ 平成 24 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	7
施策コード	403	施策名称	商工業の振興	項コード	1
基本事業コード	40302	基本事業名称	特産品の開発	目コード	3
事務事業コード	4030201	事務事業名称	特産品開発支援事業費	細目コード	896
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町商工観光振興奨励事業費補助金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 観光客延数		(対象指標1)	200,101人			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・新上五島町産海塩の知名度向上を目指したPR活動の方法として、観光客をターゲットとし、海塩を「お土産品」として販売するという方法が可能であるか、ということ、新上五島町観光物産協会と、企画に賛同した8社の製塩業者で、「海塩お土産用パッケージ」の試作品を3,000個制作し、モニター調査、モニターリング調査で検証した。	***** ① パッケージ制作数	***** 3,000個	***** 50%	***** パッケージ制作数÷ パッケージ計画数	***** 平成24年度
		(達成率分析)	当初計画では、6,000個の試作品を計画していたが、数より質を重視し、3,000個の試作品制作となった。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・新上五島町に製塩業者は17業者あり、加工食品では、五島手延うどん、水産加工品に次ぐ出荷額がある。しかしながら、業者数の割には出荷額は高くなく、平成23年、前年比1,000万円の減少と急激に落ち込んでおり、製塩業としての基盤は脆弱である。そこで、新上五島町海塩の知名度向上と、出荷額増を目的として事業を実施した。	***** ① 塩出荷額	***** 41,553千円	***** 98.93%	***** 塩出荷額実績÷ 塩出荷額目標	***** 平成24年度
		(達成率分析)	海塩パッケージについては、試作品を制作し、モニター調査、モニターリング調査を実施したのみである。			
		②				
		(達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 24 ～ H 24		23年度以前	24年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 個	6,000	3,000		6,000	3,000
	②					
成果指標	① 千円	42,000	41,553		42,000	41,553
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	860	860		860	860
直接事業費 A	千円	160	160		160	160
人件費 B	千円	700	700		700	700
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円				
財源内訳	その他	千円				
	一般財源	千円	860	860	860	860

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	町内の加工食品出荷額の上位にある製塩業者をPRすることは、出荷額の増、雇用の確保、自立する産業の育成につながり、人口減少、超高齢社会といった大きな問題を抱えている本町にとっては、必要な事業である。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	はい ● いいえ	理 由	今回は、「海塩お土産用パッケージ」の事業化に向けた試作品の制作を行った。今後、事業化され、島内おみやげ品店で「海塩お土産用パッケージ」が販売され、事業化が継続できれば、目的達成への第一歩になると考えている。
	有 効 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	新上五島町観光物産協会が事業主体となり、県補助金や、製塩業者の負担金等を活用したことによって、最小限の費用で実施できた。また、活動についても、協会職員と製塩業者が精力的に事業を実施した。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点 (事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点)	
	<p>「海塩お土産用パッケージ」の試作品を制作し、モニター調査 (アンケート調査) とモニタリング調査 (試験販売) を実施した。どちらの結果も予想を上回る高評価を得ることができ、試作品の完成度は高かった。要因としては、製塩業者に危機感があり、現状を打破したいという気持ちが高かったということから、[目的=知名度向上、目標=島内お土産品店で観光客に購入してもらう。]といった、目的、目標が明確であったこと、商品仕様及びデザインについて、専門家にアドバイスを請うた事。その2点が良い結果につながったと考えられる。</p>	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 (目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策)	
	<p>試作品について、モニター調査、モニタリング調査を実施し、高評価を得ることができ、事業化するという方向性が決定している。今後は、どのように展開して継続していくか検証・協議し目的達成へ繋げていく。</p>	
2 次 評 価	<p>本事業の成果が発揮されるよう検証し、どのように展開して本事業を生かしていくのか、目的である事業化、知名度の向上及び販路拡大に向けて、引き続き協議し目的を達成すること。</p>	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。